

# Q & A

— 日本学生支援機構奨学金（大学院在学採用） —

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 問い合わせメールアドレス： [gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp)

番号	項目	質問	回答
1	申請資格	休学中だが申請できるか。	申請可能です。 ※海外に滞在中でも、必要書類の提出や、不備対応、採用後の書類受付、及び返還誓約書の提出等必要な手続きをする必要があります。特別な対応はいたしません。
2	申請資格	留学中だが申請できるか。	学籍状態が「留学」の場合は、申請できます。該当する場合は大阪大学ウェブサイト掲載「留学予定に関する申告書」を他の申請書類とあわせて提出してください。 ※海外に滞在中でも、必要書類の提出や、不備対応、採用後の書類受付、及び返還誓約書の提出等必要な手続きをする必要があります。特別な対応はいたしません。
3	申請資格	留年中だが、申請可能か。	休学や留学していた期間がなく、在籍課程の最短修業年限を超えている場合は申請できません。同一学年を重複している場合、申請できません。また、今年度進級できなかった場合（留年中）も申請できません。
4	申請資格	昨年度「奨学金継続願」を提出したが、継続貸与となったか分からない。今回の「在学採用」で種別変更（現在貸与中の第二種から第一種への変更など）や追加（現在貸与中の第二種から第一種を追加して併用貸与への変更）を申請したいがどうすればよいか。	「奨学金継続願」を提出した方には、奨学金が継続となったかについて（「適格認定」の結果）4月上旬にKOAN掲示板（個別連絡）に通知します。 そちらを確認の上、継続貸与が認められた場合は、現在貸与中の奨学金の種別変更・追加を申請してください。
5	申請資格	昨年度までの奨学金が今年の3月で『廃止』となった。今回の「在学採用」で申請できるか。	申請要件を満たしていれば、昨年度に「廃止」となっても申請は可能です。ただし選考があるため、必ず採用になるとは限りません。
6	申請資格	授業料免除にも申請しているが、奨学金の申請資格に影響するか。	影響しません。
11	申請前	申請方法がわからない。	大阪大学ウェブサイトに掲載している「申請要領」「貸与奨学金案内(大学院)」を確認し、「オンライン採用説明会」を受講してください。
12	申請前	何を提出すればいいのかわからない。	「申告書兼必要書類確認書」のすべての項目に回答し、必要書類を確認してください。 <b>(※書類を提出していてもスカラネット登録をしていない場合は受付不可となります。)</b>
13	申請前	「KOAN」とは何か。	「KOAN」とは、大阪大学の学務システムです。入学後に交付される大阪大学個人IDによりログインすることで、Web上で大阪大学の電子掲示板（「KOAN掲示板」）の閲覧が可能となります。今後、奨学金に関する重要連絡は「KOAN掲示板」でお知らせすることになります。
14	申請前	申請すれば必ず採用されるのか。	収入・学力等の定められた基準を満たさず、選考の結果、不採用となることがあります。また、留年中等で申込資格を満たしていない場合、提出書類の不備未解消の場合など、選考に進むことなく不採用となります。

# Q & A

— 日本学生支援機構奨学金（大学院在学採用） —

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 問い合わせメールアドレス： [gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp)

番号	項目	質問	回答
15	申請前	返還しなくても良いと聞いたことがある。	日本学生支援機構第一種及び第二種奨学金は“貸与型”のため、必ず返還しなければなりません。ただし、条件を満たせば返還の猶予や返還免除を願い出ることができる制度があります。（「貸与奨学金案内(大学院)」参照）
16	申請前	申請に関する書類が欲しい。	申請に関する書類は、大阪大学ウェブサイトに掲載していますので、各自でダウンロード、印刷をして使用してください。紙媒体での配付は行っていません。
17	申請前	提出する書類はすべてカラー印刷・両面印刷でないといけないのか。	白黒印刷でも構いませんが、色で判別できないため書類に間違いがないようにご注意ください。また、「確認書兼個人情報取扱いに関する同意書」に限っては、必ずA4サイズ・両面印刷で裏面の約款まで印刷してください(片面2アップは不可)。
21	保証制度	「人的保証」を選択できる条件は何か。	大阪大学ウェブサイト掲載「貸与奨学金案内(大学院)」に記載された選任条件を満たす「連帯保証人」及び「保証人」を選任できることです。なお、採用後、返還誓約書を提出する際に、選任した連帯保証人・保証人の署名・押印、印鑑登録証明書の提出等が必要となるため、今回選任する連帯保証人・保証人の方に必ず承諾を得てください。返還誓約書等の必要書類が提出できない場合は、 <b>振込済の奨学金を【全額一括返金】の上、【採用取消】となります</b> ので、承諾を得られない方は「機関保証」を選択してください。
22	保証制度	父母以外を連帯保証人にしたい。	父母いずれかがいらっしやる場合、原則父母を連帯保証人にする事となっておりますが、例外的に認められる場合があります。詳細は「貸与奨学金案内(大学院)」参照。
23	保証制度	無収入の父母を連帯保証人に選任できるか。	「貸与奨学金案内(大学院)」記載の選任条件を満たしていれば、収入の有無に関わらず選任可能です。
24	保証制度	海外居住者を連帯保証人や保証人に選任できるか。	原則として、日本国内に居住する方を選任してください。選任できる人がいない場合は「機関保証」制度を検討してください。転勤等の事情によりどうしても海外居住者しか選任できない場合、日本国籍の方であれば選任は可能ですが、返還誓約書提出時に「印鑑登録証明書」の提出が必要となります。海外居住のため「印鑑登録証明書」を取得できない場合は、在外公館（日本国大使館または領事館）が発給する「署名証明書」を印鑑登録証明書の代わりに提出する必要があります。所定の期日までに指定された書類を提出できなければ、 <b>振込済みの奨学金を【全額一括返金】のうえ、奨学金は【採用取消】となります</b> ので、十分理解した上で選任してください。海外居住者を選任したことによる返還誓約書の提出期限の延長は行いません。なお、スカラネットに入力する該当者の住所については、国内住所のみ登録可能となっておりますので、海外居住者を選任する場合は国内にて連絡がつく先を住所として登録してください。

# Q & A

— 日本学生支援機構奨学金（大学院在学採用） —

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 問い合わせメールアドレス： [gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp)

番号	項目	質問	回答
25	保証制度	父母を保証人にしたい。	父母を保証人にすることはできません。
26	保証制度	離婚した父母、配偶者の父母を保証人にしたい。	原則父母を保証人に選任することはできませんが、「貸与奨学金案内(大学院)」記載の代替要件を満たす方であれば保証人として選任可能です。(例: 離婚した父母や配偶者の父母)ただし、この場合、返還誓約書提出時に「返還保証書」と「資産等に関する証明書」の提出が必要になります。それらの書類が提出できない場合や返還を確実に保証できると認められない場合は、 <b>振込済みの奨学金を【全額一括返金】のうえ、【採用取消】となります</b> ので、承諾を得られない場合は選任しないでください。
27	保証制度	65歳以上の親族(祖父や祖母など)を保証人にしたい。	「貸与奨学金案内(大学院)」記載の代替要件を満たす方であれば選任可能です。ただし、返還誓約書提出時に「返還保証書」と「資産等に関する証明書」の提出が必要になります。それらの書類が提出できない場合や返還を確実に保証できると認められない場合は、 <b>振込済みの奨学金を【全額一括返金】のうえ、【採用取消】となります</b> ので、承諾を得られない場合は選任しないでください。
28	保証制度	【質問番号26】【質問番号27】の場合に必要な「資産等に関する証明書」は、保証人のすべての資産について証明書類が必要なのか。	所得基準（「貸与奨学金案内(大学院)」参照）を満たす金額の証明書類を提出すれば、すべての資産の証明書類を提出する必要はありません。
29	保証制度	機関保証の「本人以外の連絡先」に海外居住者を選任できるか。	海外居住者は選任できません。必ず日本国内に在住する方を選任してください。
30	保証制度	採用後に保証制度の変更はできるか。	原則は変更できませんので、申請時に両方の保証制度をよく理解したうえで選択してください。 <b>【機関保証から人的保証への変更】</b> 理由の如何を問わず、機関保証から人的保証への変更は出来ません。 <b>【人的保証から機関保証への変更】</b> 一定の条件を満たしている場合に限り変更できる場合があります。詳しくは「貸与奨学金案内(大学院)」保証制度の変更を参照してください。
31	スカラネット	スカラネットにログインできない。	・識別番号(ユーザIDとパスワード)が正しいか確認してください。 識別番号が分からない場合は、Q&A【32】参照 (※阪大個人IDではありません) ・ご使用の機器がスカラネットの推奨環境を満たしているか確認してください。 ・スカラネットの受付時間内にご利用ください。
32	スカラネット	スカラネット識別番号(ユーザIDとパスワード)がわからない。	<b>授業支援システム(GLE)で実施する「オンライン採用説明会」を受講してください。受講完了後、「理解度チェック」に合格すると、スカラネット識別番号(ユーザIDとパスワード)を確認することができます。</b>

# Q & A

— 日本学生支援機構奨学金（大学院在学採用） —

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 問い合わせメールアドレス： [gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp)

番号	項目	質問	回答
33	スカラネット	スカラネット入力時にエラーが出て先へ進めない。	・画面上でエラー内容を確認してください。 ・半角入力が不可の欄に半角文字を入力していないか確認してください。
34	スカラネット	入力時には「確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書」を未提出だが、「提出しました」を選択して良いのか。	「提出しました」を選択してください。ただし、スカラネット入力後の書類提出時に、希望する奨学金に該当する確認書を必ず提出してください。
35	スカラネット	誓約日はいつの日付か。	スカラネット入力日を入力してください。
36	スカラネット	姓・名が文字数制限内に収まらない。	入力できるところ(制限文字数)まで入力してください。詳細は「貸与奨学金案内(大学院)」31ページを参照してください。
37	スカラネット	ミドルネームはどこに入力するのか。	名欄に入力してください。詳細は「貸与奨学金案内(大学院)」31ページを参照してください。
38	スカラネット	自分の住民票記載の住所がわからない。	お住まいの市町村役場等でご確認ください。
39	スカラネット	近々引っ越しする予定があるが、自分の住民票記載の住所はいつの時点のものを <input type="text"/>	ここで入力した住所は返還誓約書に印字されます。 この住所は返還誓約書提出時(8月中旬頃)に添付する住民票と一致する必要がありますので、8月までに住民票の住所を変更することが決定している方は、変更後の住所を入力してください。 申請時点で未定の場合も、返還誓約書提出時に住所変更を届出することができます。
40	スカラネット	下宿しているが、実家から住民票を移していない。 スカラネットの住所欄は「住民票に記載されている住所を記入すること」とあるが、実家から下宿先に住民票を移し、下宿先の住所を記入しなくてはならないのか。	実家から下宿先に住民票を移す必要はありません。 この場合、実家の住所を記入してください。
41	スカラネット	固定電話を所有していない場合は空欄で良いか。 (※申請者、連帯保証人、保証人、本人以外の連絡先)	空欄(未入力)で構いません。
42	スカラネット	携帯電話を所有していない場合は空欄で良いか。 (※申請者、連帯保証人、保証人、本人以外の連絡先)	空欄(未入力)で構いません。
43	スカラネット	連帯保証人や保証人が無職の場合は、勤務先入力はどうするのか。	勤務先・勤務先電話番号欄は空欄(未入力)とし、「無職」にチェックを入れてください。

# Q & A

— 日本学生支援機構奨学金（大学院在学採用） —

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 問い合わせメールアドレス： [gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp)

番号	項目	質問	回答
44	スカラネット	現在貸与中の奨学金の奨学生番号がわからない。	現在貸与中の奨学金の「奨学生証」や「返還誓約書」(控)等によりご自身で確認してください(第一種の場合は「6」から、第二種の場合は「8」から始まる番号です)。それでも分からない場合は、豊中学生センターまでメールにてお問合せください。その際問い合わせ内容とともに「氏名」「学籍番号」を必ず記載してください。 2024年度予約採用の採用候補者の場合は奨学生番号が未定であるため、「999-06-999999」と入力してください。
45	スカラネット	過去に受給していた奨学金の奨学生番号がわからない。	過去に受給していた奨学金の「奨学生証」や「返還誓約書」(控)等によりご自身で確認してください(第一種は「6」から、第二種は「8」、給付は「5」から始まる番号です)。それでも分からない場合は、大阪大学在籍中に受給したものについては豊中学生センターへ、その他についてはご自身で日本学生支援機構(0570-666-301)へお問い合わせください。
46	スカラネット	奨学金振込口座にする予定の金融機関が選択できない。	取扱いが出来ない金融機関は選択できません。別の金融機関を登録してください。
47	スカラネット	スカラネットの入力内容に誤りがあった。	豊中学生センターへメールにてご連絡ください。 (※メール件名「大学院在学採用申請内容訂正」、本文に氏名、学籍番号、申請受付番号、入力内容の誤った項目と本来入力すべきだった正しい情報を明記してください)
48	スカラネット	スカラネット受付番号を控え忘れた。	豊中学生センターまでメールにてお問合せください。その際「氏名」「学籍番号」「受付番号がわからなくなった旨」を必ず記入してください。申請期限が迫っている場合は、提出用封筒貼り付け用紙には“スカラネット受付番号を控え忘れた”と記入のうえ、必ず期限内に書類を提出し、申請を完了させることを優先してください。
49	スカラネット	博士前期課程に在籍中だが、博士後期課程にも進学するつもりなので、修業年限は「5年」としてよいか。	修業年限は <b>当該課程のものを入力してください</b> 。(例: 博士前期課程の場合は「2年」)
50	スカラネット	長期履修生だが、修業年限は何年にすればよいか。	研究科で認められた修業年限を入力してください。 ※入力された年限に疑義がある場合はおって確認させていただく場合があります。
51	スカラネット	「あなたの収入について」の入力方法がわからない。	事前に準備した「申告書兼必要書類確認書」・「スカラネット入力下書き用紙」をよく確認し、提出する「申告書兼必要書類確認書」と整合性がとれるように入力してください。
52	スカラネット	授業料免除を申請中だが支出に授業料を計上する必要はあるか。	あります。申請中は免除可否が未定のため、授業料を支払うものとしてください。
53	スカラネット	奨学金を申請中だが収入に計上する必要はあるか。	計上する必要はありません。申請中のものは採否未定のため、奨学金を受給できないものとしてください。

# Q & A

— 日本学生支援機構奨学金（大学院在学採用） —

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 問い合わせメールアドレス： [gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp)

番号	項目	質問	回答
54	スカラネット	アルバイト先が4つあり、スカラネットの入力枠・「申告書兼必要書類確認書」の記入枠が足りない。	3つ目のアルバイト欄に残りのアルバイト分を合計して入力（記入）してください。 なお、給与の証明書類は4つそれぞれを提出してください。
60	提出書類	「コピー」と指定のある書類を原本で提出してもいいか。	原本でも構いませんが、一度提出のあった書類は一切返却できませんのでご注意ください。
61	提出書類	第一種奨学金と第二種奨学金の併用、あるいは併願を希望する場合は、書類は2部必要か。	併用・併願の場合でも書類は1部で構いません。
62	提出書類	「確認書兼個人情報取扱いに関する同意書」の提出日はいつにすればいいか。	記入した日としてください。
63	提出書類	家庭教師の収入がある場合、誰に証明してもらえばいいのか。	給与を支払っている方に大阪大学ウェブサイト掲載の「給与支払（見込）証明書（様式1）」を作成してもらってください。
64	提出書類	アルバイトの研修中だが、「支払見込証明書」を提出しなくてはならないか。	研修中でも、雇用契約が成立している場合は、「給与支払（見込）証明書（様式1）」を作成してもらってください。
65	提出書類	雇用期間（給与が支払われた期間）が3カ月未満であるため、「年収見込に関する申告書」（様式2-2）に添付するための給与明細書等のコピーが提出できない。	雇用期間（給与が支払われた期間）が3カ月未満であるものの、1～2か月分の給与明細が提出できる場合は、申請者の算出した支払（見込）額で「年収に関する申告書」（様式2）を提出することができます。給与明細が一切提出できない場合は、事業主の方（給与の支払者）からの証明を受けた「給与支払（見込）証明書（様式1）」を提出してください。
66	提出書類	「支払（見込）証明書」の証明を雇用主から出してもらえない。	「年収に関する申告書（様式2）」に給与明細のコピーを添付して提出してください。
67	提出書類	退職証明書を雇用主から発行してもらえない。	退職証明書に代えて「退職年月日が確認できる公的な資料」も可とします。いずれも取得が困難な場合は、大阪大学ウェブサイト掲載の「申立書」に、「氏名・退職年月日・勤務先・退職証明書等を取得できない理由」を明記したものを代わりに提出してください。
68	提出書類	日本学生支援機構奨学金を受給しているが、途中で金額変更を行い、変更後の金額を証明する書類がない。何を提出すればいいか。	「スカラネット・パーソナル」で現在の貸与状況を確認できますので、「詳細情報」等の「奨学金の受給額・受給期間が確認できる箇所」を印刷したものを証明書類として提出してください。金額変更を複数回している場合は、スカラネットパーソナルのコピーの余白に、1月から12月までに各月の月額をメモ書きし、提出してください。
69	提出書類	スカラネット入力下書き用紙を提出しなくてはいけないうか。	<b>スカラネット入力下書き用紙は提出不要</b> です。スカラネット入力完了時に画面に表示される「受付番号」をスカラネット入力下書き用紙に記録し、採用後の返還誓約書提出時まで大事に保管しておいてください。

# Q & A

— 日本学生支援機構奨学金（大学院在学採用） —

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 問い合わせメールアドレス： [gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp)

番号	項目	質問	回答
81	申請時	スカラネット登録後、申請を取り下げたい。	豊中学生センターへメールにてご連絡ください。 (※メール件名「大学院在学採用辞退」、本文に受付番号、氏名、学籍番号、辞退理由を明記)
82	申請時	選考不可とはどういう扱いか。	申請の不備・不明点が所定の期限までに解消されなかった場合、選考に進むことなく不採用となります。
83	申請時	学生センター所定提出BOXはどこにあるのか。	大阪大学ウェブサイトに掲載中の「申請要領」を確認してください。
84	申請時	郵送で申請書類を送付するにはどうしたらいいか。	申請書類が入る封筒を各自で用意し、「郵送用宛名貼付用紙」を貼付けて、特定記録(速達)郵便にて送付してください。
85	申請時	書類を提出したが入れ忘れに気づいた。追加で提出して良いか。	申請書類の提出期限内であれば、入れ忘れた書類を追加で提出しても構いません。 追加書類の提出方法・場所は通常の提出と同様ですが、「提出書類確認票」の受付番号欄の左側に朱書きで「追加書類」と明記してください。 なお、申請期限を過ぎて提出された書類は一切受理をせず、大学で破棄します。
91	申請後	(6月まで)選考中だが、奨学金が不要となった。 (7月以降)採用されたが、奨学金が不要となった。	6月までであれば、その旨豊中学生センターへメールでご連絡ください。 (※メール件名「大学院在学採用辞退」、本文に受付番号、氏名、学籍番号、辞退理由を明記) 7月以降(採用確定後)であれば、採用取消の手続きもしくは「異動願(届)」の提出による辞退手続きが必要です。まずは豊中学生センターまでメールでご連絡ください。
92	申請後	今回不採用になった場合、今後の募集で奨学金申請はできないのか。	募集ごとの申請資格を満たしている場合、申請可能です。
93	申請後	今回不採用になった場合、今後の募集で奨学金申請をしても不採用になるのか。	選考は奨学生募集の都度行われますので、不採用になるとは限りません。
101	その他	返還誓約書類が届くのはいつか。	例年、7月下旬頃にKOANIに登録している本人住所*あてに発送しています。 *採用決定通知の際にKOAN掲示板(個別連絡)により住所確認についても案内しますので、郵便物が確実に受け取れるよう、KOAN登録住所は常に最新のものに更新しておいてください。
102	その他	給付奨学金の申請はできないのか。	日本学生支援機構「給付奨学金」制度の対象者は学部学生です。 <b>大学院生は対象外</b> となります。給付型奨学金については、日本学生支援機構以外の奨学金をご検討ください。
111	全般	上記以外に質問がある。	本学ウェブサイト「問合せフォーム」からお問い合わせください。 <a href="https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit">https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit</a>
112	全般	質問はなぜ問合せフォームでしなければならないのか。	質問の内容は各人の収入状況等により多種多様となっています。それぞれの方に正確に回答するためには、確認する時間を要します。 電話や窓口での質疑応答では、お待たせすることにもなり、また記録にも残らないため口頭では後々トラブルの原因にもなり得ます。 特に多かった疑問は、随時「Q&A」に掲載しますのでご協力をお願いします。

# Q & A

— 日本学生支援機構奨学金（大学院在学採用） —

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 問い合わせメールアドレス： [gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp)

番号	項目	質問	回答
121	「博士課程」*の第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」申請制限 *「博士課程」には博士後期課程、医歯薬学4年制博士課程、5年一貫制博士課程(生命機能研究科)を含む。以下1002～1004も同じ。	令和6年度、国立研究開発法人科学技術振興機構による「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「次世代AI人材育成プログラム」(以下、「フェローシップ事業等」という)の支援を受けることが決定した。第一種奨学金に申込み採用された場合、第一種奨学金の「特に優れた業績による返還免除」(以下「業績免除」という)には申請できるか。	第一種奨学金採用年度が令和5年度以降の方は、フェローシップ事業等の支援を受けることになった場合、博士課程での業績免除を申請することができません。 ただし例外として、一貫制博士課程(生命機能研究科)の博士前期課程相当年次在籍中に第一種奨学金を辞退し、優れた業績を挙げた者については、フェローシップ事業等の支援が決定していても、奨学金を辞退した年度における業績免除の申請は可能です。
122	「博士課程」の第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」申請制限	令和5年度に第一種奨学生として採用され貸与を受けることになったが、翌年度、博士課程2年次(相当)から国立研究開発法人科学技術振興機構による「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「次世代AI人材育成プログラム」(以下、「フェローシップ事業等」という)の支援も受けことが決定した。 これに伴い第一種奨学金は博士課程1年次(相当)をもって辞退するが、「特に優れた業績による返還免除」(以下「業績免除」という)には申請できるか。	第一種奨学金採用年度が令和5年度以降の方は、フェローシップ事業等の支援を受けることになりフェローシップ事業等の支援を受ける前に第一種奨学金を辞退した場合であっても、業績免除を申請することができません。
123	「博士課程」の第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」申請制限	国立研究開発法人科学技術振興機構による「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「次世代AI人材育成プログラム」(以下、「フェローシップ事業等」という)の支援が終了した後に、令和6年度第一種奨学生として採用が決定した。 第一種奨学金貸与終了時には「特に優れた業績による返還免除」(以下「業績免除」という)に申請できるか。	第一種奨学金採用年度が令和5年度以降の場合、第一種奨学金の貸与を受ける前にフェローシップ事業等の支援が終了していたとしても、業績免除を申請することができません。
124	「博士課程」の第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」申請制限	国立研究開発法人科学技術振興機構による「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「次世代AI人材育成プログラム」(以下、「フェローシップ事業等」という)の支援を受ける場合は、第一種奨学金の貸与を受けることができないのか。	第一種奨学金の採用年度にかかわらず、フェローシップ事業等の支援を受けながら第一種奨学金の貸与を受けることは可能です。